

設計技術検討部会報告

資料編

目 次

1. 概説	I - 5
1.1 検討実施の背景と目的	I - 5
1.2 「第二次提言」を設計実務に適用する場合の手法と課題の整理	I - 5
1.3 耐震設計の高度化への対応状況の調査	I - 6
1.4 耐震設計の高度化に備える施策	I - 7
2. 提言を設計実務に適用する場合の手法と課題	I - 10
2.1 概要	I - 10
2.2 入力地震動	I - 11
2.2.1 活断層タイプの地震の実務設計への適用の意義と問題点（各論）	I - 11
2.2.2 地震動設定に考慮する活断層の選定について	I - 16
2.2.3 想定地震として考慮する活断層のパラメータ設定について	I - 17
2.2.4 最近の活断層の話題	I - 20
2.3 橋梁	I - 22
2.3.1 橋梁に関する被害形態と耐震設計上の課題	I - 22
2.3.2 レベル2地震動に対する耐震設計	I - 29
2.3.3 橋梁における重要度の考え方	I - 75
2.4 堤防および河川構造物	I - 80
2.4.1 総論	I - 80
2.4.2 現行の耐震設計基準と改定の動向	I - 103
2.4.3 土木学会第2次提言における耐震設計法（レベル2）に対する問題点と課題	I - 109
2.5 地中構造物	I - 114
2.5.1 側方流動に対する検討方法	I - 114
2.5.2 レベル2地震時の設計法	I - 142
2.5.3 断層や地表のずれを横切る場合の対応策	I - 151
2.5.4 地中化構造物の重要度の考え方	I - 192

2.6 港湾施設	I - 202
2.6.1 兵庫県南部地震による港湾施設の被害の検討	I - 202
2.6.2 レベル2の地震時の設計方法	I - 203
2.6.3 港湾施設の重要度の考え方	I - 220
3. 耐震設計技術の現状調査	I - 231
3.1 概要	I - 231
3.2 耐震設計の高度化への対応状況の調査	I - 232